

# 特別会計予算

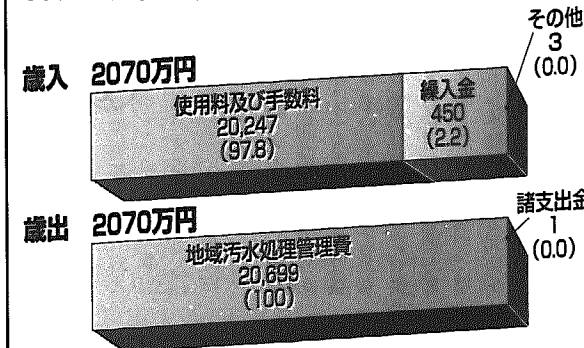
平成10年度の特別会計・事業会計の予算をお知らせします。

## 各会計の予算 (前年度比)

■地域汚水処理事業	2070万円 (+420万円)
■下水道事業	11億8400万円 (+1億4400万円)
■国民健康保険	14億8751万円 (+1億5625万7千円)
■老人保健	19億9819万3千円 (+9129万2千円)
■水道事業 (支出計)	7億32万2千円 (-7773万6千円)
■ガス事業 (支出計)	9億7725万2千円 (-2446万4千円)

### 地域汚水処理事業特別会計

汚水処理戸数を前年度比100戸増の700戸と見込んで予算編成しました。



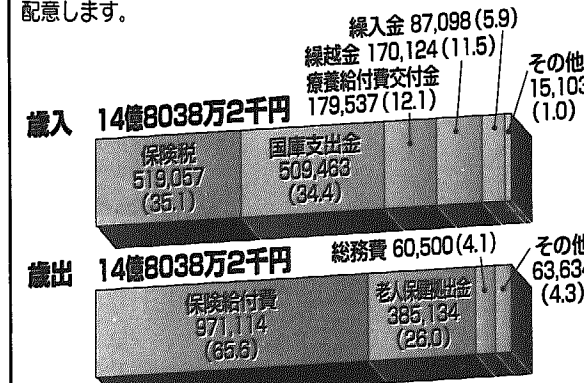
### 下水道事業特別会計

今年度も汚水・雨水幹線及び面整備にあたる汚水の枝線管渠の布設工事を実施するとともに、第3処理分区に続いて第2処理分区の幹線管渠の整備に着手する予定です。



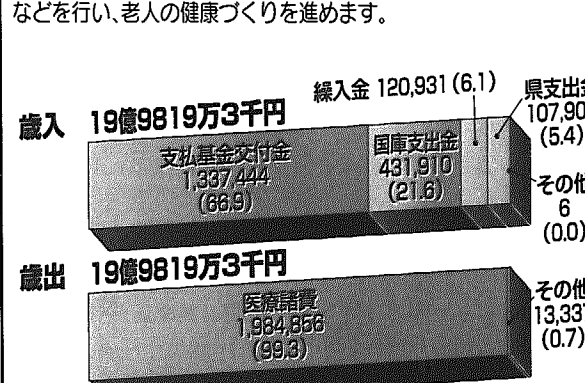
### 国民健康保険特別会計

国保総合健康づくり事業の推進や収納率向上事業の推進により、国民健康保険事業の運営の安定化を図ると同時に経費の節減に配慮します。



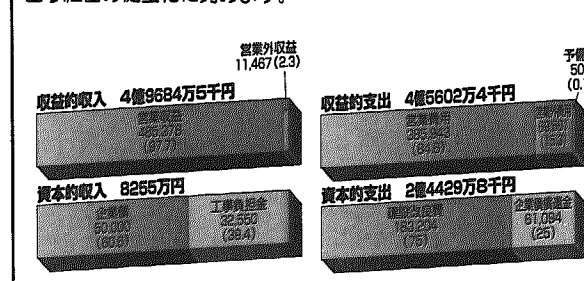
### 老人保健特別会計

老人一人当たりの医療費が依然として県下一高い状況であり大変苦慮していますが健康づくり事業の推進とセプト点検事業などを行い、老人の健康づくりを進めます。



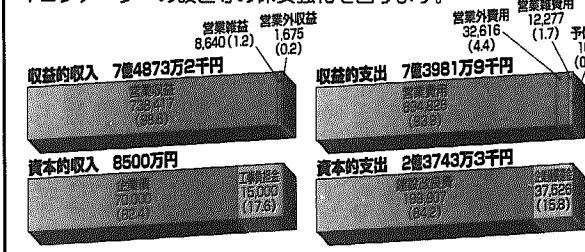
### 水道事業会計

安全な水を安定的に供給するため、水質監視の強化と浄水場施設の整備及び水道本支管の更新事業を行うとともに、経費の節減を図り経営の健全化に努めます。



### ガス事業会計

近年の暖冬気候等による供給量の伸び悩みに加え、電力・石油等の他燃料との競合などにより厳しい状況下にありますが、安全でしかも安定した都市ガスの供給を行うために、導管網の改善とマイコンメーターの設置等の保安強化を図ります。



## 河内町長の施政方針要旨



21世紀を目前に控え、本格的な少子高齢化社会の到来、経済社会環境の急激な変化、高度情報化や国際化の進展等を背景として、行政に対するニーズが複雑かつ多様化してきております。その一方においては、国、地方とも財政は極めて厳しい状況にあり、財政の健全化に向けた取り組みが重要課題となっております。国、県においては、平成10年度当初予算では公共投資を前年度比マイナスとすなど厳しい予算編成となっております。今更におきまして、平成9年度末町債残高が79億円を超える見込みですが、財政の運営に支障が生じることのないよう、また、黒崎町を少しでも住みよい活力ある町にするため、更に努力いたす決意であります。

さて、こうした厳しい状況ではありますが、介護保険導入に備えた福祉、保健関係施策等の積極的な展開を図るとともに、分りやすい行政、人になやましい行政を実現するため、組織機構を見直すとともに、北部地区に住民票、印鑑証明、戸籍謄抄本等の証明書発行コーナーを開設し、利便性の向上と行政サービスの図る所存であります。なお、諸証明発行コーナーの開設は、関係機関との調整が必要でありますので、調整が整いし開設いたしましたと考えております。

新潟市との合併問題についてであります。新年度は新潟市から合併建設計画要素

に対する、建設及び財政計画案の提示を受け、黒崎町長との協議の協力を得られ、合併協議会等について、住民説明会等の開催及び広報等で周知徹底を図り、合併問題について住民の理解と合意形成を図りながら慎重に進めて参りたいと考えております。

当町は、昭和48年2月1日町制施行以来、今年で25周年を迎える節目の年にあたり、この四半世紀における町の発展はめざましく、1月末の住民登録人口はついに2万5千人を超え、新潟都市圏域の中で重要な位置を占めるにいたりました。

私は、この記念すべき節目の年にあたり、町民こそで参加し、25周年をお祝いしたいと考えております。主な行事といたしましては、記念式典、NHK夏期巡回ラジオ体操の誘致、文化講演会、黒崎大鼓の創設、また、黒崎町の誇る芸術家として大成された亀倉雄策先生の卒寿記念展や、黒崎町の歴史を刻み出し、写真展及び、転作田を一杯にして都市と農村の調和を図るコスモスフィールド設置事業等をメインとし、その他既存の事業である黒崎まつりや町民親善大運動会、健康まつり等々については、ポリエムアップを図りながら意義ある25周年の記念事業といたしたい所存であります。

新潟交通電車線存続問題につきましては、関係市町村で電車線存続協議会を組織し交渉をしてきたところですが、依然として社側の廃止の意向が強く、対応に苦慮しているところであり、今後財政支援をふまえて県と協議しながら新潟都市圏の交通輸送手段の円滑化を図られるよう、なお、交渉を継続してゆく所存であります。

モーターボート競走舟券場外売場の件につきましては、現在訴訟が継続中ですが、去る12月議会一般行政に対する質問の答弁のとおり、急速な当町の発展等々をみても、現在設置が予定されている場所については、慎重な検討が必要であると考えているところであります。

以上、新年度に対する所信の一端と施策の概要について申し述べましたが、議員各位並びに町民各位のご理解とご協力を重ねてお願い申し上げます。

## 主な歳出の内訳

総務費	20億9121万8千円 (前年度より+1億1987万円、+6.1%)	民生費	7億5133万9千円 (前年度より+5376万1千円、+7.7%)
特別職給与2330万4千円	教育長給与615万6千円	職員給与8827万3千円	職員手当等6億9061万8千円
共済費2億3624万1千円	町長交際費280万円	町史編さん費2607万4千円	広報等の印刷製本費1465万4千円
交通安全対策費1460万2千円	自治会長委託料704万3千円	広域行政対策費884万8千円	町制25周年記念事業費736万5千円
徴収費4992万6千円	戸籍住民基本台帳費1491万円	選挙費673万8千円	統計調査費164万5千円
監査委員費190万3千円			
土木費	11億3028万4千円 (前年度より-4682万6千円、-4.0%)	教育費	6億8923万5千円 (前年度より-1億2625万円、-15.5%)
道路橋梁維持費3620万3千円	町道改良舗装工事及びうるおいロード環境整備事業費4億4050万円	町道拡幅用地買収費2億4595万1千円	黒崎南IC周辺開発基本構想検討調査委託料840万円
下水道事業特別会計繰出金2億7734万4千円	都市下水路費2060万円	公園事業費2555万9千円	
衛生費	9億8156万9千円 (前年度より-3億4626万6千円、-26.1%)	国民健康保険特別会計繰出金5144万4千円	予防費3364万1千円
母子衛生費3385万9千円	環境衛生費1235万円	老人保健特別会計繰出金1億2093万1千円	保健センター管理費1185万円
ごみ収集委託料9483万8千円	最終処分場減容化施設建設工事費2億6000万円	新潟県広域清掃事務組合負担金2億9766万円	
農林水産業費	4億1589万5千円 (前年度より+1億5710万8千円、+60.7%)	農業委員会費1680万8千円	農業近代化資金利子補給金等135万円
土地利用型農業経営規模拡大促進事業費256万1千円	農業振興費2958万8千円	緊急生産調整推進対策費4619万2千円	うち工事費6130万円
農村総合整備事業費1億7915万2千円	うち工事費6130万円	農村環境改善センター管理費2007万2千円	農地費1億1612万7千円
うち負担金1億1606万7千円			
公債費	8億2658万3千円 (前年度より+9433万円、+12.9%)	町債償還金4億8936万7千円	町債償還金利息3億2832万3千円
町民農園事業費132万7千円		商工費	1億8907万5千円 (前年度より-7652万1千円、-28.8%)
黒崎町商工会補助金930万円	黒崎まつり補助金931万5千円	街路灯改修事業費補助金1256万6千円	産業育成資金貸付金6000万円
商工業近代化資金貸付金5500万円	持家住宅建設資金貸付金201万1千円		
議会費	1億659万8千円 (前年度より+947万6千円、+9.8%)	議員報酬5896万8千円	議員期末手当2288万7千円
議長交際費60万円	議会報等の印刷製本費250万円	会議録調整委託料224万9千円	
消防費	6096万1千円 (前年度より+506万3千円、+9.1%)	常備消防費1467万6千円	消防団員報酬603万1千円
防火水槽設置等消防施設工事費1260万円			
予備費	1000万円 (前年度と同額)	諸支出金	654万3千円 (前年度より-374万5千円、-36.4%)
財政調整基金積立金(利子分)142万4千円	ふるさと創生事業基金積立金250万円	災害復旧費	50万円 (前年度と同額)
労働者信用基金協会出損金20万円		労働費	20万円 (前年度と同額)